

福島第一原子力発電所 雑固体廃棄物焼却設備建屋における水漏れについて

< 参 考 資 料 >
2019年5月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2019年5月27日午前10時00分頃、雑固体廃棄物焼却設備建屋 1 階焼却設備室 A 系において、協力企業作業員が水漏れ（範囲：約30m×8m）を発見しました。
- その後、午前10時2分から当該設備の停止操作を開始し、雑固体廃棄物焼却設備 A 系に関わる焼却設備補機冷却水系を隔離して、午後0時10分に漏えい停止と当社社員が判断しました。
- 漏えいした水は焼却炉を冷却するためのろ過水であると考えており、漏れた過程で焼却灰と混ざったものの室内に留まっているため、外部への影響はありません。
- 漏えい箇所の確認については、設備の熱が冷めた後に分解点検を実施してまいります。

<時系列>

午前10時00分頃_雑固体廃棄物焼却設備建屋 1 階焼却設備室 A 系において、協力企業作業員が水漏れ（範囲：約30m×8m）を発見。

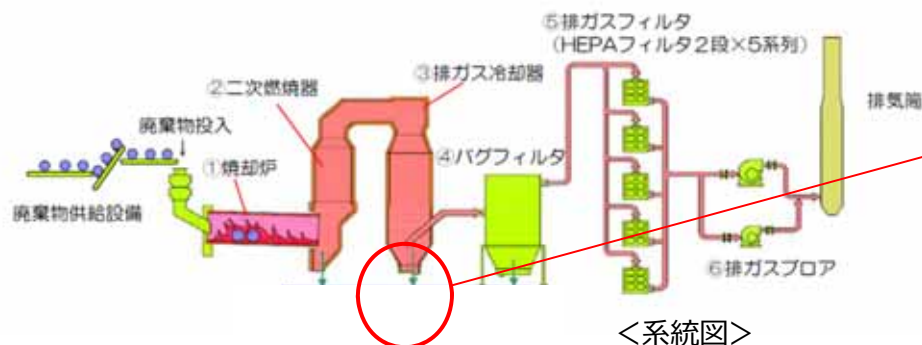
午前10時2分_当該装置の停止操作を開始。

午前10時8分頃_協力企業作業員から緊急時対策本部へ連絡。

午前10時43分_雑固体廃棄物焼却設備 A 系に関わる焼却設備補機冷却水系を隔離

午後0時10分_漏えい停止と当社社員が判断

※なお、雑固体廃棄物焼却設備 B 系は設備点検のため停止中。



<漏えいした水の状況>